



憲法9条改憲を許さない中央・都本部署名行動（東京都文京区 2022.1.12撮影）



No. 572

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

第40回全国大会めざし2万人の同盟へ

特別期間(3/1~6/30)みんなの力で成功を

主な記事

● 各県本部の大会・総会 II 続 II	● 私も一言 / 杉沢隆宣	● 三役会議 / 「2万人の同盟実現特別期間」決める	● 頸彰碑 / 三枝博音	● 抵抗の群像 / 嵐山繁樹	● 頸彰碑 / 三枝博音	● 同盟文芸 / 短歌・俳句・川柳
● 3	● 2	● 5	● 5	● 6	● 5	● 7

第208回通常国会は1月17日開会しました。岸田首相は就任後初の施政方針演説を行いました。「新しい資本主義」「新自由主義の弊害」「経済・社会の大変革に取り組む」「新しい時代を拓く」などと大見得を切りましたが、すべて安倍・菅政治の焼き直しです。「国民の信頼と共感」と言いながら大軍拡と改憲など危険な姿をあらわにしました。

新型コロナ・オミクロン株の第6波対策は後手後手で、「まん延防止重点措置」は34都道府県、全国の7割超です。検査体制の充実と隔離・ワクチン接種・事業所支援などを強く求めます。

1月30日の三役会議は、第40回全国大会の成功めざし3月1日から6月30日までを「2万人の同盟実現特別期間」に設定。コロナ・オミクロン感染対策に留意しつつ、全都道府県・支部へ自主目標の達成を呼びかけました。また、1月1日から6月30日までに会員拡大した方を顕彰します。5人以上は「不屈」に氏名を発表、10人以上は氏名の発表と賞状・記念品の贈呈も決めました。

映画「わが青春つきともー伊藤千代子の生涯」が完成。4月15日より上映が始まります。1月末現在、北海道2、宮城13、福島1、東京8、埼玉3、千葉19、長野23、福井1、静岡1、大阪1、兵庫1、徳島3、福岡1などで会場確保と準備が進んでいます。「戦争する国づくり」が進むなかで、社会進歩をめざした千代子の生きざまを語り、広く入会を呼びかけましょう。



『唯物論研究』は、「治安維持法による取り締まりを避けるためマルクス主義者による団体」という形態をとらず、あくまで唯物論の研究を目的とした団体として創

倉アカデミア創立にかかり、第2代校長を務めた。63年、国鉄鶴見事故で死去、「駆け込み寺」として有名な鎌倉市の東慶寺に眠る。

【交通】JR北鎌倉駅から徒歩5分。

員・党员・党友 支持者に総動員をかけました。

「市民と立憲野党の共闘」は、こうした動きに打ち勝つことが、大切で「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」ため全力を挙げましょう。

「2万人の実現特別期間」に決める

顯彰碑
探訪

「唯物論研究会」創立に
弾圧に抗し『唯研』発行

加音

三枝博音は、広島県出身、1922（大正11）年東京帝大哲学科卒、苦学しながら西洋哲学を専攻。在学中に兵役体験からマルクス主義に接近した。28年「戦闘的無神論者同盟」を発足させ、32年9月、戸坂潤らとともに唯物論研究会（略称・唯研）の創立に参加。機関誌『唯物論研究』の初代編集長に。33年治安維持法により逮捕され、力月間拘留。教職を辞し、『日本哲学全思想史』などを刊行した。

『唯物論研究』は、「治安維持法による取り締まりを避けるためマルクス主義者による団体」という形態をとらず、あくまで唯物論の研究を目的とした団体として創

唯研は、治安維持法による中心メンバーの逮捕で38年2月に解散。『唯物論全書』などを刊行し、戦後の唯物論研究に多大な影響をあたえた。

解散後、唯究の運営に参加していた会員が「學藝發行所」を組織し、「唯研」後継誌として月刊雑誌『學藝』を、38年4月66号から11月73号まで発行。主要会員の検挙で、唯物論研究会以来の活動を終了。12月74号は、当局に押収され廃刊においてしまった。

6月開催の第40回全国大会まで
2万人の同盟建設を決めました
あと4ヶ月「2万人実現特別
期間」を必ず成功させましょ
う。昨年の総選挙では、「市
民連合と立憲野党の共闘」で
自公連合政権を倒し「市民連
合政権（案）」の樹立をめざ
して闘いました。支配層は、
共産党が立憲野党と統一戦線
を組んで闘いに乗り出したこ
とに危機感を抱き、死に物狂
いの反共攻撃を行いました。
自民党本部は10月21日「急告・
情勢緊迫、1票1票獲得に全
力を」の指令を出し、地方議
員、党員・党友、支持者に總
をかけました。

が青春つくるとも—伊藤千代子の生涯製作上映債権は500口に迫り、映画は4月15日から全国上映が始まります。現在決った会場だけでも数千人規模です。安倍・菅・岸田政権のもと、秘密保護法、共謀罪、安保法制（戦争法）、土地利用規制法と大軍拡で「戦争する国づくり」が進んでいます。鑑賞した皆さんへ千代子の志を受け継いで、共にたたかうこと呼びかけましょう。

「会員拡大をした方々の顕彰について、1月から6月中に5人拡大した方は『不屈』に氏名を発表。10人以上拡大した方は氏名発表と表彰状・記念品（DVD）『種まく人びと』または『治安維持法化の刑事・行政警察用語事典』を贈呈します」。全会員の参加を呼びかけましょう。



中央に主演の井上百合子さん、右に桂監督、竹下景子さん

映画「わが青春つきのともり」作
藤千代子の生涯」の撮影終了報告・
記者会見が1月18日午後、全労連
会館ホールで行われました。

はじめに監督の桂壮三郎さんが
経緯と製作への思いを語り、その
後、各出演者がスピーチ。

皆さんは支えてもらいたがるはじじ
じじましたが、当時使わ
れていた建物や歴史も私に力を与
えてくれたと思います。治安維持
法の時代のことは私たちの世代に
は想像もできませんが、いろいろ
な資料を読み込みながらもそれに
とらわれず、ひとりの女性として

てやることができた」と語っています。記者会見後、参加者全員で記念撮影しました。

関係者の懇親会が行われました。埼玉県から参加した高校生は、

に会場を確保し、上映を成功したい」と、決意を表明しました。

名護市長選挙は1月23日投開票され、岸本洋平さんが大健闘しました。ご支援をいただいた全国の皆さんに心からお礼を申し上げます。

岸本さんは結果を受けて、「多くの方々に支えていただいた。勝利はできなかつたが『基地には反対』の市民の意思は変わらないことを確信している」とあいさつ、デニー知事も「新基地建設反対の県の姿勢は揺るがない」と強調しました。実際に新聞社の出口調査でも「反対」が6割をこえています。新基地建設の是非という明確な争点があり

ながら、相手候補は、政治戦では「基地については語らない戦術」、組織戦では企業などへの締め付けを徹底しました。敗北はしましたが闘いは続きます。名護民商は投票日午後11時まで集会をもち、「今回は新基地建設中止をめざす闘いの通過点、峠の向こうには必ず春がある」と決意を固めあいました。県民は翌日から「辺野古のゲート前」で座り込みを開始しました。

「勝つ方法はあきらめないこと」を合言葉に、県同盟も全力で闘いぬく決意を固めています。

